

# 三河商人道

PART  
129

有限会社 尾野木工所  
代表取締役 尾野 守 君



青年部は、仲間の集まり。



「青年部は仲間の集まり」と熱く語って頂いたのは、チャーターメンバーとして人生の半分を岡崎商工会議所青年部に捧げてこられた尾野守さん。仁木町の尾野木工所・代表取締役として、個人・企業など各方面に向けてオーダー家具の製造販売をされています。

20歳の時、専門学校を卒業と同時に父親である先代のもとで家具職人としてのキャリアをスタートさせ、現在まで頑張っておられました。一時は、意見の違いから先代とぶつかり会社を飛び出し2年間、知り合いの会社の一部を間借りして個人で営業したこともあるそうです。

尾野さんが商品を取り付ける際に常に心がけてみえるのが、その場に合わせた機能性と耐久性だそうです。個人宅の下駄箱のように特定の方が使用する場合は、家具に多少の特徴(クセ)があっても支障はないが、店舗や美容院など不特定多数の方が使用する場合は、誰でも簡単に使えるものでないといけないそうです。最近では、病院・老人介護施設・障害者施設のご依頼も増えているようで、これまで以上に安全性も重要視して業務にあたっておられます。

仕事でのご苦労は？との質問に、飲食店などの改装の場合、オープン前日に取り付け作業をするなど、スケジュールが非常にタイトになることで徹夜作業もしばしばのお話しをうかがい、スタッフもビックリ。お体を壊さないかと心配になってしまいました。

青年部入会のきっかけは、創立案内を見た先代の勧めでとの事でしたが、当初は、委員会活動も少なく何をどうしてよいかわからなかったそうです。それでも活動続け、岡崎観光夏祭りは、初回から参加され、YEG全国大会も多数出席されるなど、青年部活動に積極的に関わってこられました。今では、「友人がたくさんでき、販路も広がった」とにこやかに話されました。また青年部のソフトボール同好会では、背番号「？」を背負い、ご活躍頂きました。そんないろいろな一面をお持ちの尾野さん、長い間の青年部活動、大変お疲れさまでした。ご卒業されてもOBとして我々後輩を指導していただくことをお願いして取材を終了しました。



長い歴史が感じられる社屋



仕事の資料を手にお話しされる尾野さん



取材スタッフと一緒に記念撮影



取材担当/  
情報発信委員会  
二宮 伸建・大倉 啓司